

廃校施設の現状と今後

旧マキノ北小学校跡地の現状は？



高島新政クラブ
代表質問 青谷 章 議員

答

ナマズ以外の淡水魚についても養殖研究を行っています。

問

旧マキノ北小学校の跡地を利用して行われている「琵琶湖淡水魚養殖事業」の現状は。

答 市長

ナマズの種苗生産と養殖からスタートしましたが、ナマズを含めた他の淡水魚に範囲を広げ、養殖研究を行っています。

問

成魚生産までできるのか。

答 市長

種苗生産だけでは事業の採算が伴わず、発展性のある事業にしていくには成魚生産が不可欠です。

問

「琵琶湖淡水魚養殖事業」について、もっと地元地域への情報提供をすべきでは。

答 市長

今後とも情勢の変化を見極め、適時、情報等の提供に努めます。

問

在原分校の跡地利用の考え方と方向性は。

答 市長

地元の意見を聞きながら、若者定住につながる場として利活用を検討していきます。

問

環境センターダイオキシン類濃度基準値超過事案に対する損害賠償および求償に至った経緯は。

環境センター事案
損害賠償請求・求償



答 市長

第三者調査委員会の報告書には、「このような事態になったことに関し、これまでかかわった市職員（退職者を含む）の責任は重大である」と記されており、これを踏まえ、専門家の意見を聞きながら慎重に検討しました。

問

組織としての危機管理に対する重大な過失があったと考えるが。

答 市長

問題に必要な対応を講ずべき役割を担っているのは担当職員であり、組織としての重大な過失であるという認識はしておりません。

問

元市長には求償を含めて責任はあるのか。

答 市長

答えは控えさせていたいただきますが、聞き取り調査や記録文書から判明した職員に対して求償を行うものであり、関わりが明らかでない場合は、対象にはできません。

問

支払い拒否の場合は訴訟対応に入るのか。

答 市長

引き続き理解が得られるように督促等を行っていきます。

その他の質問

●指定管理者制度のあり方と指定管理施設の現状について